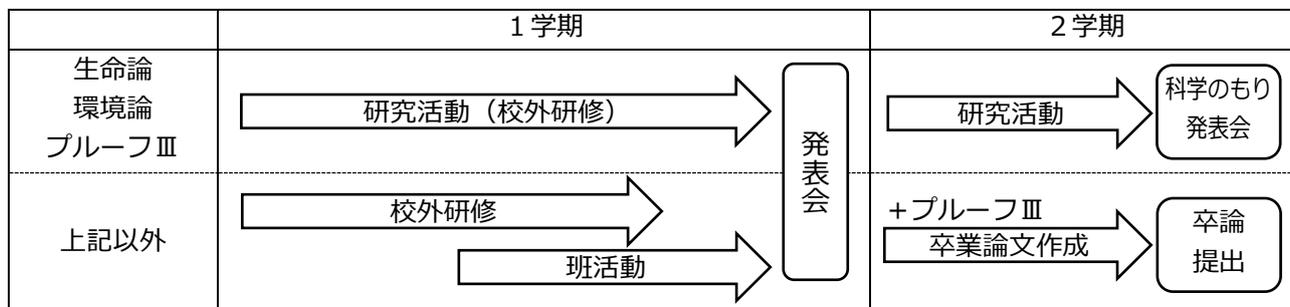


科学のもり 高Ⅲ必修科目「アドバンスド・プルーフ」

“附属天王寺での学びや探究を通して、社会を見る目は変わったか？”という問いに答えるべく、**社会課題**について問題の深刻さや重大さを、**根拠をもって合理的に語る**ことができることをめざす。**人間、イノベーション、地球、平和**の4分野のなかで班に分かれて探究活動をおこなう。**校外の企業や機関での研修**を踏まえ、**1学期末に発表会**をおこない、**2学期は個人で論文を作成**する。「生命論」、「環境論」、「プルーフⅢ」選択者は、それらの科目での研究テーマに関して、議論や事前・事後学習をおこなう時間とし、発表会は学年全体が参加する。



分野	課題の例（SDGs 優先課題より）	先輩が設定したテーマの例
人間	あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現、健康・長寿の達成	・性差に関する諸制度は本当に必要なのか ・薬物相互作用による被害の防止～専門家でなくても薬を安全に使用できるのか～
イノベーション	成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション、持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	・AI・プログラミング言語を使った社会貢献 ・地域社会の再興 ・地方における少子化による小学校運営の変化
地球	省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会、生物多様性、森林、海洋等の環境の保全	・いぬをまもりたい ・エネルギーの枯渇 ・地球温暖化の地域別の現状について
平和	平和と安全・安心社会の実現	・日本における貧困問題 ・資源論的観点から見るロシア・ウクライナ戦争

☆校外研修について

社会課題に取り組む社会人の姿に直接触れ、問題の深刻さや解決へのプロセスを学ぶ目的で、1学期のあいだに企業や研究機関、NPO 法人などを訪問する。学校が提示するリストから選択する以外に、各自で訪問先を見つけ、予約をしてもよい。1学期はアドバンスド・プルーフの授業時間や放課後を利用して校外研修に行くものとし、必要であれば複数回研修に行ってもよい。

春休み期間中に希望者を対象に研修を実施する（案内と募集は3学期に入ってから）。いずれも、4つの分野に通じる要素を含んでおり、分野をまだ絞り切れていない状態で「とりあえず」参加するのもよい。訪問先の受け入れ人数を超えた場合は、変更や辞退をしてもらうことがある。

<参考：昨年度の訪問先リスト>

三菱電機電子通信システム製作所、塩野義製薬医薬研究センター（SPRC）、ダイキン工業テクノロジー・イノベーションセンター、産業技術総合研究所関西センター、浜田化学株式会社 本社・リサイクルセンター、Planet Savers 株式会社、大阪教育大学学校安全推進センター、JICA 関西、株式会社 YOLO JAPAN 大阪オフィス

☆卒業論文について

1学期におこなう校外研修と班での探究を踏まえて論文を書くことが望ましいが、個人の探究のテーマや方向性がそれらに縛られる必要はない。卒論の書き方は改めて説明するが、表紙、図表、参考文献リストを除き、本文のみで6000字以上が条件で、完成した論文は1冊ずつ製本し、図書館に所蔵される予定。